

お試し変換可能

Fujitsu モダナイゼーション リライトサービス・リホストサービス

# Fujitsu PROGRESSION

UNIX/Linux版

ソリューション概要のご紹介

# 業務ロジックを維持した、 止まらないモダナイゼーションを実現。

「Fujitsu PROGRESSION (プログレッション) UNIX/Linux版」は、富士通独自開発のフレームワークを活用して、UNIX/Linux上のCOBOLアプリケーションをオープン環境に対応したソースへ変換するリライトサービスです。

## 特長 01 現行資産の構造を維持してJava言語へ変換

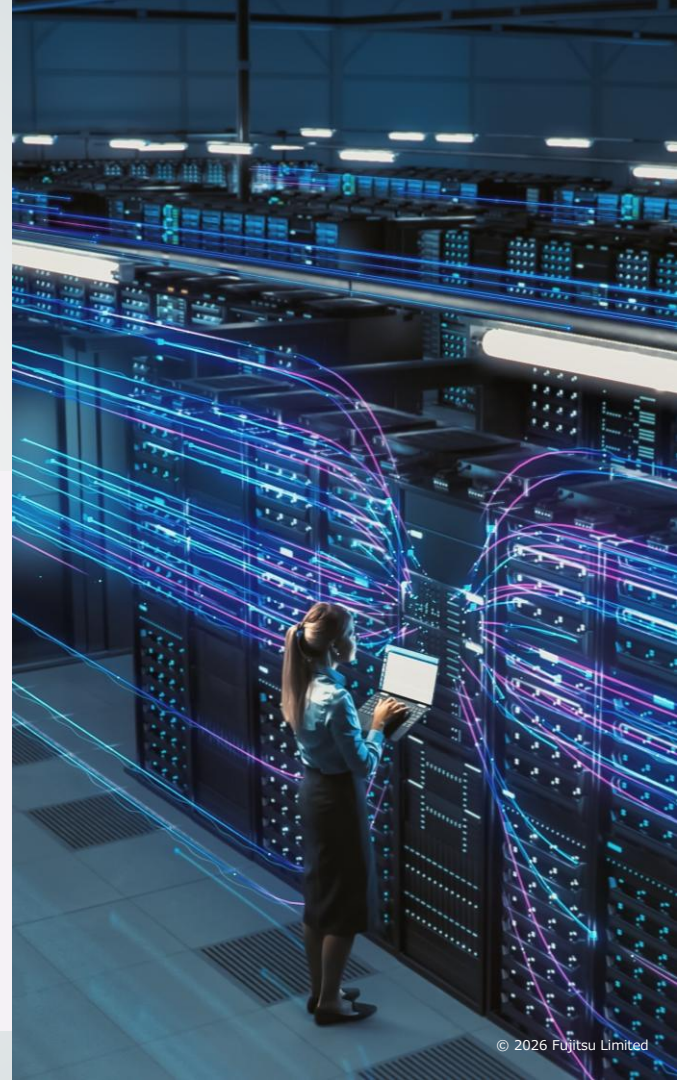
- COBOL特有のロジックを共通化した変換方式
- 独自フレームワークで肥大化しないJava変換を実現

## 特長 02 AI活用の道を拓きモダナイ期間短縮・保守性向上

- 変換後の生成AI活用によりモダナイズ期間を短縮可能
- コスト・工数削減につながる実行効果と安定品質の提供

## 特長 03 DXを意識した拡張性を持つ富士通のリライトサービス

- 将来の拡張を見据えたリライトサービス
- モダナイゼーション市場トップシェアの実績と実践知を反映



Fujitsu PROGRESSIONの特長

# Fujitsu PROGRESSION 適用の効果



## Java資産肥大化を最大約60%抑制

- 独自のCOBOL変換技術により、一般的なリライトに比べ変換時のJava資産肥大化を抑制
- 機能踏襲性が高く、アプリ構造と業務ロジックを維持した変換  
→IT部門、業務部門の負担増を抑制したモダナイゼーションが可能



## AI実装により最大40%のコスト削減

- テストケース生成に生成AIを活用してコストを削減
- AI活用の継続的なエンハンスで、常に高い変換精度を実現  
→モダナイゼーションの期間短縮・コスト削減



## リスク/失敗を許さない着実なモダナイの実行

- 50社超の変換実績、COBOL特有の構造を理解した変換設計で確実なモダナイズ
- 豊富なノウハウを集約した専門家の支援とPROGRESSIONフレームワーク  
→運用まで見据えた安心で柔軟性あるモダナイゼーションを提供

## 変換対象資産





- アプリケーションのビジネスロジックには手を付けずに、最も重要な**COBOL資産をJava言語へと変換します**
- アプリケーション以外（画面や帳票など）はお客様環境に応じた個別対応でのモダナイゼーション実施となります

	移行元（UNIX/Linux）	移行先（新環境）	
画面	HTML	React/HTML/CSS	
アプリケーション	<b>COBOL</b>	<b>Java</b>	<b>PROGRESSIONにて対応</b>
帳票	帳票関連	ListCreator 等	
ジョブコントロール	Shell	Shell	
データ管理	既存RDB	SQL Server/FEP/Oracle	
OS	Solaris/Linux	Linux	
ハードウェア	オンプレミス	Azure/オンプレミス	他サービスにて最適性能をご提示可能

# サービス適用プロセス概要



- 1 対象資産特定・PoCにて移行対象資産を確定し、本サービスの適用可否を判断します
- 2 後続の設計工程で技術要素を検証し、変換工程で段階的に全資産を移行します
- 3 独自のフレームワーク活用による肥大化防止+生成AI活用で変換を最適化します
- 4 テストケース生成にAIを活用し、大幅なコスト減を実現しています
- 5 全工程で富士通のレガシーモダナイゼーションの専門家「モダナイゼーションマイスター」がプロジェクトを支援します

	対象資産特定※	PoCサービス PoC	コード変換サービス 設計 変換		現新比較 テスト	テスト (IT/ST/OT)
標準期間	4~10週間	2~3か月	4~6か月	プロジェクトに依存	プロジェクトに依存	プロジェクトに依存
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行資産における使用/未使用、不足/重複資産の特定</li> <li>移行対象資産の確定</li> </ul>  <p>分析に生成AI活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定機能の<b>変換及び動作検証</b>(対象資産特定結果を踏まえたPoC対象の調整)</li> <li>サービスの<b>適用可否判断</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリ移行概要設計、処理方式設計</li> <li><b>サービス未対応のホスト技術要素のツールチューニング</b>を実施</li> <li>プロトタイプによる<b>技術要素検証</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資産を<b>ロット分割</b>し、ロット毎にサービスによる<b>変換</b>を実施</li> </ul>  <p>継続的エンハンスに生成AI活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>変換作業完了後</b>、現新比較テストを実施</li> </ul>  <p>テストケース生成に生成AI活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変換作業完了後、結合テスト(IT)、総合テスト(ST)、運用テスト(OT)の支援を実施</li> <li>テストによるQAや障害対応を実施</li> </ul>  <p>生成AI活用可</p>
 <b>モダナイゼーションマイスターの参加</b>						

※ 対象資産特定フェーズは、モダナイゼーション関連サービス「Fujitsu 資産分析・可視化サービス」をご提案いたします。

凡例：  
 リライトサービス提供範囲  
 移行後の個別ご相談範囲  
 他サービス、SI対応範囲



## お客様のCOBOL資産の一部を実際にJavaに変換&評価することで、検討初期の段階でJava化の効果を体感いただけます。

### こんなお悩みをお持ちのお客様へ



- モダン化はしたいが、移行方式の決め手がない
- Javaへの変換のイメージが湧かない



### 変換後のソースコード品質を体感



### 最短2週間でのアウトプットを提示※

### 変換前 (COBOL)

```
001002 IF W状態コード1 = '96' OR '97'
001003 THEN
001004 IF WSYNAD数 < 3
001005 THEN
001006* 10ms e c後、再試行
001007 CALL 'SUBR0220'
001008 COMPUTE WSYNAD数 = WSYNAD数 + (1)
001009 GO TO ダミ-READ
001010*
001011 ELSE
001012* 障害通知へ
001013 IF S部000パスオンWS = SPACE
001014 THEN
001015 CALL 'JXALANTE' USING S Q-処理種別格納域名 S Q-通知域名 S Q-通知レベル域名 S Q-
001016 MOVE S Q-プロシヤ名 TO S部000プロシヤ名
001017 MOVE 'FS' TO L部021依頼名
001018 MOVE W処理コード TO S部000処理コード
001019 CALL 'SUBR0350' USING L部021画面遷移制御パラメータ S部SPA領域 C部010障害通知
001020 END-IF
```

### 変換後 (Java)

```
if (local.W状態コード1.getValue().compareTo("96") == 0 ||
    local.W状態コード1.getValue().compareTo("97") == 0) {
    if (local.Wsynad数.getValue().compareTo(BigDecimal.valueOf(3)) < 0) {
        /** 10ms e c後、再試行
        SUBR0220.Start();
        local.Wsynad数.setValue(local.Wsynad数.getValue().add(BigDecimal.valueOf(1)));
        jumpTo("Pダミ_r e a d");
    }
    /**
    else {
        /** 障害通知へ
        if (local.S部000パスオンws.isSpaces()) {
            // [ProgressionCOE]: Cannot locate component 'JXALANTE', which is being called inside this progra
            JXALANTE.Start(local.S q_処理種別格納域名, local.S q_通知域名, local.S q_通知レベル域名, local.S q
            local.S部000プロシヤ名.setValue(local.S q_プロシヤ名.getValue());
            local.L部021依頼名.setValue("FS");
            local.S部000処理コード.setValue(local.W処理コード.getValue());
            SUBR0350.Start(local.L部021画面遷移制御パラメータ, local.S部spa領域, local.C部010障害通知メ
```

次ページのお問合せから

※3~5本のCOBOLソース(5Kstep程度)であること、過不足なく資産をご提供いただけることが前提となります。

資料請求・お試し変換・お問合せ

## Fujitsu PROGRESSION UNIX/Linux版の 更に詳しい情報をご確認ください

ご紹介資料の請求、お試し変換のお申し込み、  
その他モダナイゼーションに関するお問い合わせはこちらから

[お問い合わせフォームから申し込む](#)

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております。